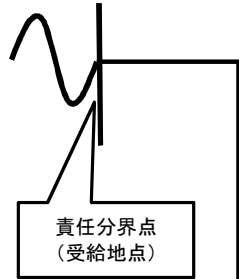


低圧系統連系資料 兼 調査用紙

主幹漏電ブレーカの1次側にパワーコンディショナを接続する場合の記載例



提出日 年 月 日			
お客さま名	電気番号		
	既設計器番号		
供給申込	雑のみ・他申請有り ()	余剰電力契約	新規・変更 (増設・減設・その他)
連絡体制	太陽光発電設備販売会社		電気工事店
会社名			
ご担当者名			
会社電話番号	() - () - ()	() - () - ()	
住所	〒() - () - ()		



引込支持点～配電盤の電線（幹線）					沖電 チェック
	電線種類	太さ	距離		
既設			m	-	-
変更			m	-	-
竣工調査（漏れ電流測定）				mA	-

屋外開閉器	
設置	有 ・ 無
容量	[A]
構造	3P3E ・ 3P2E

お客さま計器情報（お客さま記入欄）		沖電 チェック
計器番号（型式）	() (R)	-
電気方式	相 線式	
容量	[A]	
検満年月日	年 月	-

お客さま計器情報（沖縄電力記入欄）			
試験用端子などのビスの締付けを確認する			
お客さま計器の配線が適当か確認する			
お客さま計器の日時が適当か確認する			
指示数	機械式計器：		[kWh]
	①	[kWh]	③ [kWh]
	②	[kWh]	④ [kWh]
	①デフォルト（その他季）又は昼間時間 ②デフォルト（夏季）又は夜間時間 ③ナイトタイム ④リビングタイム		

沖電 チェック	解列箇所の開閉器	
	種類	
	型式	
	容量	[A]

※INVがJET認証品でない場合にご記入下さい

沖電 チェック	インバータ（INV）		沖電 チェック
	メーカー		-
	型 式		
	認証番号	P-	
	定格出力容量	[kW]	-
	出力電圧	[V]	-
	バッテリー	有 ・ 無	

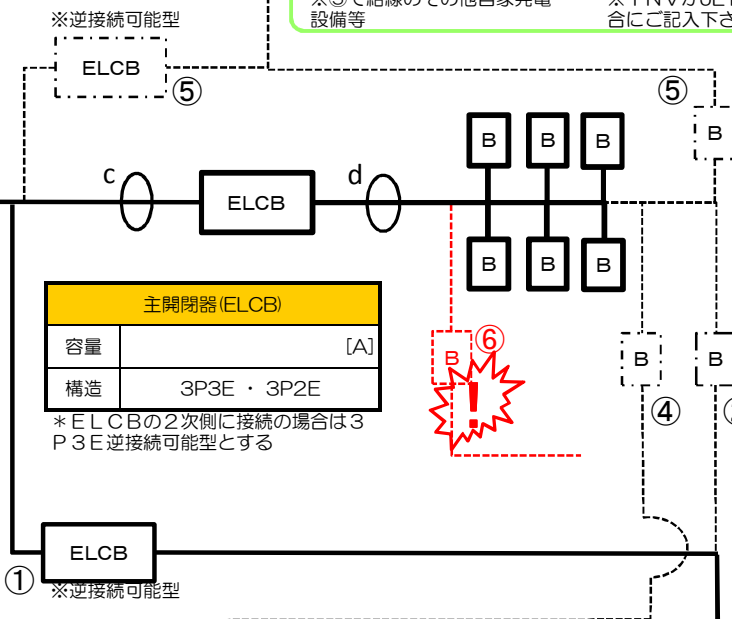
太陽電池パネル			沖電 チェック
パネル出力1	[W] ×	枚	
パネル出力2	[W] ×	枚	
パネル出力3	[W] ×	枚	
合計出力	[kW]		

※最大出力は小数点以下第3位までご記入下さい

INV～配電盤の電線		
電線種類	太さ	距離
		m

INV回路用開閉器	
結線	① ・ ② ・ ③ ・ ④
容量	[A]

※接続する配線の番号に○をご記入下さい



沖電 チェック	解列箇所の開閉器	
	種類	
	型式	
	容量	[A]

※INVがJET認証品でない場合にご記入下さい

沖電 チェック	インバータ（INV）		沖電 チェック
	メーカー	IDEC(株)	-
	型 式	PJ1A-A591	
	認証番号	MP- 0050	
	定格出力容量	5.900 [kW]	-
	出力電圧	202 [V]	-
	バッテリー	有 ・ 無	

太陽電池パネル			沖電 チェック
パネル出力1	[W] ×	枚	
パネル出力2	[W] ×	枚	
パネル出力3	[W] ×	枚	
合計出力	[kW]		

※最大出力は小数点以下第3位までご記入下さい

太陽光発電以外の発電設備	
太陽光以外の自家発電設備等	
種類	ガスコジェネ・燃料電池・蓄電池・小型風力 その他 ()
メーカー	
型式	
認証番号	
定格出力	[kW]
インバータ出力	[kW]
逆電力リレーの有無	有 (a ・ b ・ c ・ d) ・ 無
※逆電力リレー(RPR)有の場合、逆潮流を感知するCTセンサーの設置箇所をa～dから選択して下さい。整定値もご記入下さい。	
解列箇所の開閉器	
種類	
型式	
容量	[A]
※INVがJET・JIA認証品でない場合にご記入下さい	
INV回路用開閉器	
容量	[A]
※⑤で結線のその他自家発電設備等	

「W発電」内容確認（沖縄電力記入欄）	
↓ 沖縄電力窓口担当者記入欄（該当するものに「○」）	
(1) 太陽光からの逆潮流発生時に自家発がリレーで停止（押上効果なし） ⇒新買取制度上、太陽光単独と同等扱い	
(2) 自家発から逆潮流発生時のみ自家発がリレーで停止（押上効果あり） ⇒新買取制度上、W発電に該当	
(3) 自家発からの逆潮流発生時に自家発は停止しない（逆電力リレー(RPR)無） ⇒新買取制度の買取対象外	
↓ 沖縄電力調査担当者記入欄（該当するものに「○」）	
上記(1)～(3)で選択された内容を確認できました。	
上記(1)～(3)で選択された内容が確認できませんでした（または、相違していました）。 ※確認内容は、下記メモ欄に記入。	
メモ	

- 記入例を参考にご記入ください。
- 本資料は、「貴社電力系統への自家用発電設備等の連系に関する照会について」に添付してご提出ください。
- 認証品PCSを使用する場合には、別途「認証証明書（写）」を添付してください。
- 記入漏れがあると、受付できない場合があるため、ご注意ください。
- 工事を施工される工事店様もしくは販売会社様にて**太枠内に必要事項をご記入**ください。
- 発電設備の接続方法にあわせ、①～⑤の点線を実線に変更してください。
また幹線が変更になる場合には、点線を**赤**で実線に変更後、線種、太さ、距離をご記入ください。
⑥の回路には、分電盤内に過電流が生じる恐れがあるため、当該回路への連系はできません。
- この図面によりがたい場合は、別途図面を添付してください。
（発電設備から購入用計器の間に逆潮流電流を制限するブレーカーがある場合は、メーター容量の決定に影響するため本用紙にご記入いただくか別図面を添付してください。）
- 太陽光以外の発電設備等を併設する場合は、その情報もご記入ください。
その場合、当該資料の他に発電設備に関する技術検討資料の提出もお願いいたします。（逆電力リレーの位置により購入単価が異なります。）
- 太陽光パネル～INV間などで敷地を横断する場合には、電気主任技術者の選任が必要となる場合がございます。

INV～配電盤の電線		
電線種類	太さ	距離
		m

INV回路用開閉器	
結線	① ・ ② ・ ③ ・ ④
容量	[A]

※接続する配線の番号に○をご記入下さい

調査結果記入欄	
調査日	年 月 日
調査員	印
連系可能	申込内容を確認 資料の修正が必要
連系不可能	設備改修が必要 技術検討やり直し
お客さま 確認欄	印